

猫による被害でお困りの方へ



○ 猫除け対策の効果を、より継続させるために

- ① 猫の侵入口、侵入経路、ふん尿の被害場所等を調べてから対策を行う。
- ② 複数の対策を試し、効果があったものを1～2週間おきに交互に使用する。

○ 猫が自宅の敷地内へ侵入しないようにする対策例

1 猫が嫌いな臭いで侵入を妨害する

(臭いがきついものや色がついてしまうものもあります。あらかじめ、近隣へ説明をしましょう。)

◇ 侵入経路、ふん尿の被害場所に臭いの液体を設置・散布

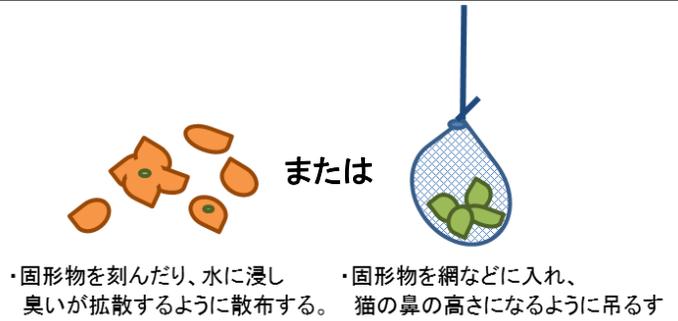
- ・食用酢
 - ・硫黄臭の入浴剤
 - ・塩素系漂白剤
 - ・木酢液
 - ・米のとぎ汁(濃いめ)
 - ・かんきつ類の汁や香料
 - ・タバコ吸殻の水溶液
- 水で濃いめに希釈



◎クレゾール石けん液は、臭気が強すぎ、近隣からの苦情の原因となるため、使用は避けてください。
 ◎効果が薄い場合は、臭いの量を増やす・濃くする等調節し、定期的な交換が必要です。

◇ 侵入経路、ふん尿の被害場所に臭いの固形物を吊るす・散布

- ・忌避剤
 - ・かんきつ類の皮
 - ・コーヒーやどくだみ茶の茶殻
 - ・ニンニク、唐辛子等の臭いの強い香辛料
 - ・香りの強いハーブ類
- (レモングラス、ルー、メントール、ペパーミント等)

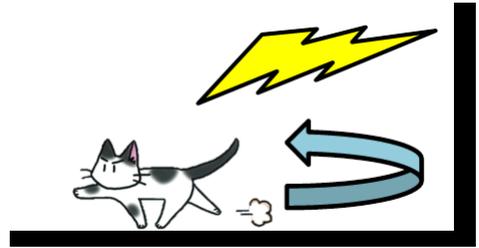


◎効果が薄い場合は、臭いの量を増やす等調節し、定期的な交換が必要です。

2 猫が来た時に追い払う (近隣に対して、騒音等の迷惑にならないよう配慮してください。)

◇ 侵入を妨げる

- ・水鉄砲等で水をかける (虐待に当たらない適度)
- ・防犯ブザー等で大きな音を立てる
- ・猫除けの超音波機器等を設置 (定期的に場所や向きを変える)

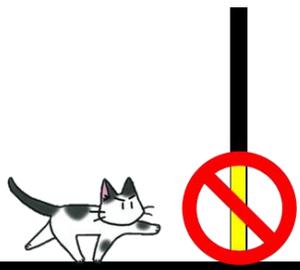


◎人がやっていることが分かれると、不在時に侵入するようになるので猫に見破られないようにしましょう。
 ◎水に猫の嫌がる匂いのものを混ぜると効果的と言われています。

3 猫の侵入を物理的に妨害する (人が怪我をする恐れのない場所に設置してください。)

◇ 侵入口をふさぐ

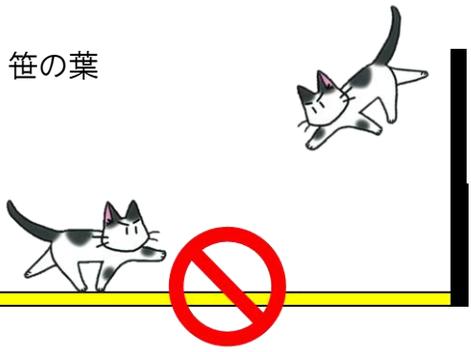
- ・ベニヤ板や柵
- ・ネットや金網
- ・見えづらい透明などのテグス
(猫の足に引っかかる高さに張る)
- ・砂を入れたペットボトル(堀に並べ、先が見通せないようにする)



◎オープンスペースには不向きです。

◇ 侵入経路、侵入の着地点、ふん尿の被害場所を妨げる

- ・とげとげシートなど突起のあるマット
- ・大きめの石や砂利、園芸用灰
- ・アルミホイル
- ・トゲのある植物
(カラタチ、バラ、サボテン、ヒイラギ等)
- ・地面を覆う植物
(タイム、ビオラ、アイビー、ツルニチソウ等)
- ・松ぼっくり、枯れ枝、笹の葉
- ・目の細かい網

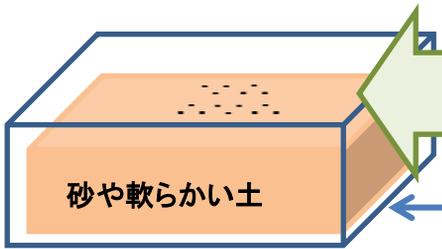


◎猫が嫌がるものを敷き詰めます。飛び越えたり、避けたりしないように敷き詰めましょう。

4 猫のトイレを作り、被害を減らす

(猫は決まった場所に排泄する習慣があるため、猫トイレ以外の場所で被害を減らせます。)

◇ 人通りが少なく、周りを囲まれた場所や爪とぎの木の近くに設置



猫がトイレと認識するまでの間、土などに混ぜる
 ・マタタビ粉
 ・しつけない猫のふんの臭いがついた土

プランターや発泡スチロールの箱

○ 飼い主のいない猫を減らしていくための対策

猫は、縄張り内(直径約1km)の中で生きる習性を持っています。猫へのえさやりを禁止しても、地域から完全に猫を排除できるわけではありません。飼い主のいない猫の寿命は4~5年程度とされています。猫の問題を地域の課題としてとらえ、**猫の「去勢・不妊手術の実施」「えさの管理」「ふん尿の始末」などを施して、地域で適正に管理することによって、将来的に飼い主のいない猫を減らしていくことができます。**

大田区では、猫の去勢・不妊手術費用の一部を助成しています。地域の生活環境の改善のために、この対策に取り組もうとお考えの方は、生活衛生課までご相談ください。



大田区保健所生活衛生課
 電話:5764-0670
 FAX:5764-0711